

東邦銀行 教育・文化財団の活動 (平成 25 年度下期) … 2  
 後援事業について / 奨学金事業について  
 平成 25 年度 (下期) 文化・スポーツ活動助成事業

原郷のこけし群 西田記念館の展示 (案内 / 報告) … 4

かがやく FLASH 平成 24 年度下期助成団体の活動から … 6  
 郡山東剣道スポーツ少年団 / 飯野混声合唱団

SPOTLIGHT TALK 原釜神楽保存会 … 8  
 会長 伊東正芳さん (表紙写真 笛方右端)



SPOT LIGHT 神楽で呼び起こす郷土のきずな 共に生きる力  
**相馬宇多郷の神楽**  
 (写真は 2012 年 4 月 15 日、津神社例祭での原釜神楽奉納)

江戸時代の「天明の飢饉 (1782-88)」のとき、相馬藩は領民の約七割を失うほどの大被害だったという。そこからの再起を唱導したのが「二宮仕法」であり、領民奮起結束の首領取りとなったのが獅子神楽と田植え踊りだったといわれる。藩主は、当時とかく規制の対象とされたこれらの芸能を奨励し、とりわけ獅子神楽については藩内七つの郷ごとに記す「雷神社」への春の祈願、秋の感謝の奉納を礼とさせた。福島県内に伝承されている神楽の約 7 割が旧相馬藩地域に集中しているゆえんだ。「宇多郷」(相馬市)では今も 19 の団体が活動し、坪田地区にある雷神社に集って舞う年 2 回の「郷社奉納」も続いている。

公益財団法人 東邦銀行 教育・文化財団  
<http://www.tohobankkyoikubunka.jp/>

## 「神楽」で取り戻す復興の力

原釜神楽保存会 (原釜敬神部)

会長 伊東正芳さん

3.11の大津波であまりにも多くのものが失われた相馬市原釜の浜に、一年後の4月15日、震災前にも劣らない祭りの賑わいがあった。高台に位置して津波の難を逃れた鎮守、津神社の春の例大祭だ。すべてを失いながら一年で祭りを取り戻した原釜神楽保存会(原釜地区敬神部)の伊東正芳さん(表紙写真 笛方右端)を訪ねた。



### 神楽再建からの始まり

「春祭りの練習も終盤にさしかかり、大體格好がついてきたなと思っていたところで大震災でした。神楽用具一式も家と津波にさらわれ、すっかりなくなってしまう…。」と伊東さん。当時会長だった石橋雅彰さんも犠牲になった。

原釜の漁師は、松川浦漁港から船を出し東北有数の水揚げを誇る、相馬の海の恵みの立役者だった。その漁師らに信仰されてきた鎮守が津神社で、毎年春祭りには浜に設けられたお旅所で地区民総出の祭りが行われる。地区の敬神部(原釜神楽保存会)がその催行を支えてきた。

高台にあり、津波から逃げる目あてとされてきた社殿は、無事だった。しかし、地区人口1200人余りのうちの99人の命とともに、原釜地区のほぼすべてが失われた。そして、宮城や岩手の港から再起の報が聞こえて始めてからも、生業である漁業再開の目途がまったく立たなかった。原発災害。神楽どころではなかった。

「そんななか区長さんが神楽のことを熱心に考えてくれ、朝日新聞文化財団の文化財保護助成に申請を出し、年末には神楽用具一式が揃いそつだということになりました。神楽のことを考えたのはそこからですね。」

### 若い人の声が進んできた

年が明けて2月、新しい獅子頭が届い

た。例祭の時期も近づいていた。だが祭りをやることまでは誰も考えなかったはず、と伊東さん。「神社への奉納だけはしなければならなかったらと話してました。でも祭りになると…。何もなくなってしまう浜など見たくない、という人もいましたから。」

やるべきか、やつてもいいものか、悪いのか、話をかきかきながら、若い人から出た「やろう、やるんだ」という声、みんなの気持ちを動かしたと話す。

「若い人たちが敬神部(保存会)の地元での組織名」の話に入って、やろう、と声を上げてくれた。それが大きかったです。そして、やるんだ、となつてからは、皆これまでにないやる気を出していましたね。大変なときだからと逆に熱心になつた気がします。」

### 郷土と人々をつなぐ神楽の力を継承する

4月15日、神輿が地区内を練り歩き、浜に設けたお旅所での祭りが復活した。避難でバタバタになっていた人々と津波をまぬがれ地区に残っていた人々が、2年ぶりに集い、原釜神楽の奉納を見守った。恒例だった地域の婦人会の踊りや、若い人の演奏やダンス、保育園の子どもの踊りの発表も行われた。震災前を上回るほどの人出だったという。

「あれだけの人が足を運んでくれたのだから、やった意義はあつたと思います。そこからみんなの気持ちも変わったと思います。」

同年秋、原釜神楽は、長い間途絶えていた郷社・雷神社への奉納復活も果たした。「私は笛を担当してはいるんですが、区長さんが声をかけたら笛をやりたいという若い人が6、7人出てきました。後継をしっかりとやっていきたいと思います。」

伊東さんは終始笑顔で話してくれた。だが、相馬に限らず本県の漁業はまだ復興以前の段階だ。「いま船に乗っても、やれる」とは瓦礫の回収とサンプル調査…。

泣き言は言われないと言えない、出来ないことに全力で臨むだけ、いま被災者が直面し、噛みしめている思いが、何度もしもその顔に浮かんだ。

神楽の練習は、そんな張りつめた心を解きほぐし、郷土と共に生きていく力を吹き返すひとときだろうか。そうに違いない。そうであるように、との祖先からの励まし「神楽」であるに違いない。



津神社。津波の水位は参道石段の7,8段目にまで達した(右奥が原釜浜)

かがやく ③ 平成 25 年 10 月 10 日発行  
 発行所 公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団  
<http://www.tohobankkyoikubunka.jp/>  
 〒 960-8041 福島市大町 4-4  
 電話 024-523-5882 FAX 024-523-3265  
 発行人 鹿野 幸一 ©東邦銀行教育・文化財団  
 制作 株式会社 進和クリエイティブセンター  
 印刷 株式会社 日進堂印刷所

### 編集後記

6月開催の理事会・評議員会におきまして役員改選が行われ、北村新理事長のもと「東邦銀行教育・文化財団」の新たな体制がスタートいたしました。本紙担当も替わりましたのでどうぞよろしくお願いたします。

県内各地区で活動されている文化芸能、スポーツ団体の皆様には、復興を諦めず立ち向かう勇気と知恵をいただいておりますが、当財団は、これからも引き続き出来る限りの支援を行って参ります。

TOPICS **平成 25 年度【下期】文化・スポーツ助成団体と活動**

東邦銀行教育・文化財団の平成 25 年度下期助成（平成 25 年 10 月から平成 26 年 3 月までの期間に実施予定の文化・スポーツ活動）は、次の 20 団体に決定しました。（助成金総額 240 万円）

平成 25 年度下期助成（決定）団体と活動名（文化 11 団体・スポーツ 9 団体）

団体名	活動名	実施予定日・実施場所
混声合唱団「ひろせ」（伊達市）	混声合唱団「ひろせ」創立 25 周年記念&相馬修作品コンサート	平成25年10月6日(日) 梁川町農村環境改善センター 大研修室
福島シャンソンの会（福島市）	福島シャンソンの会第 22 回発表会	平成25年10月9日(水) 福島テルサ FTホール
混声合唱団メンタル・ハーモニー（福島市）	高田三郎生誕 100 周年記念演奏会	平成25年10月20日(日) 福島市音楽堂 大ホール
福島県写真連盟（福島市）	第 41 回福島県写真展	平成25年11月5日(火)～10日(日) 福島県文化センター
うた工房 C horal アトリエ（福島市）	うた工房 C horal アトリエ創立 15 周年記念演奏会	平成25年11月10日(日) 福島テルサ FTホール
会津そらの会（会津若松市）	宇宙に夢中！日本の宇宙開発とその未来	平成25年11月17日(日) 福島県立博物館
あぶくま混声合唱団（田村市）	あぶくま混声合唱団 20 周年記念コンサート	平成25年12月8日(日) 田村市文化センター
ABOO Singers（白河市）	ABOO Singers ゴスペルコンサート 2013	平成25年12月15日(日) 白河市文化センター
福島室内合唱団（福島市）	福島室内合唱団第 3 回定期演奏会	平成26年2月9日(日) 福島テルサ FTホール
NPO しらかわ歴史のまちづくりフォーラム（白河市）	地域に関する歴史の研究と普及活動	平成26年2月15日(土) 白河市文化センター
雅の会・ふくしま（福島市）	第四回「雅の会・ふくしま」成果発表会	平成26年3月1日(土) 福島市アオウゼ 多目的ホール
会津ソフトバレーボール連盟（会津若松市）	「会津ソフトバレーボール連盟創立 10 周年記念」及び「会津美里町ソフトバレーボール連盟創立記念」大会	平成25年10月6日(日) 会津美里町高田体育館
田島サッカースポーツ少年団（南会津町）	田島サッカースポーツ少年団創設 20 周年記念大会	平成25年10月12日(土)～13日(日)、19日(土)～20日(日) 南会津町びわのかけ総合運動公園
だいくら SIEGER スポーツ少年団（南会津町）	インラインスケート講習会	平成25年10月12日(土)～13日(日) 南会津町高野(田島ダム内)
月館愛宕スポーツ少年団（伊達市）	月館愛宕スポーツ少年団半澤万徳監督就任 40 周年記念大会	平成25年10月13日(日) 伊達市月館運動場
特定非営利活動法人ひのきスポーツクラブ（南会津町）	第 2 回ひのき駅伝大会	平成25年10月27日(日) 南会津町高野地内田島ダム
青空会父兄会（郡山市）	第 21 回青空会会旗争奪ソフトボール大会	平成25年11月2日(土)～3日(日) 田村スポーツ広場
郡山カーリングクラブ（郡山市）	一般県民、地域住民に広く参加機会を与える活動	平成25年11月～26年3月 磐梯熱海アイスアリーナ
喜久田ミニバスケットボールスポーツ少年団（郡山市）	復興支援喜久田ミニバスケットボール親善大会	平成26年2月16日(日) 郡山市喜久田小学校体育館
芳賀剣道スポーツ少年団（郡山市）	芳賀剣道スポーツ少年団結団 20 周年記念大会	平成26年3月2日(日) 東部体育館

第 8 回全国高校生金融経済クイズ選手権  
**「エコノミクス甲子園」**  
福島県大会開催

平成 25 年 12 月 14 日(土)  
10:00-15:00  
ホテル福島グリーンパレス

全国の高校生(2人1組)がクイズ形式で出題される金融経済の基礎知識や時事・地元経済に関する“金融知力”を競う「エコノミクス甲子園」福島県大会が、東邦銀行と特定非営利活動法人金融知力普及協会の共催、当財団などの後援で開催されます。県大会を勝ち抜いた優勝チームは、平成 26 年 2 月 1 日～2 日に東京都で開催される全国大会への出場権を獲得。全国大会優勝チームには、副賞として「ニューヨーク研修旅行」が贈られます。

**\*競技形式(予定)**  
(1) 予選…筆記クイズと早押しクイズを行い、合計得点で決勝進出チームを決定します。  
(2) 決勝…決勝進出チームで優勝決定戦を行い、優勝チームは全国大会出場権を獲得できます。

福島の歴史資料館収蔵資料展  
**「描かれた江戸時代の信夫郡」**  
開催中(12月23日(月)～祝)  
福島県歴史資料館 展示室

福島県歴史資料館収蔵資料の中から江戸時代の信夫郡(福島市域)に関する絵図を取り上げ、当時の福島城下の町割り、奥州街道や板谷街道の様相、田畑などの耕地の利用、寺院や神社の分布、阿武隈川や摺上川など大小河川の氾濫や治水など、江戸時代の村落の景観が分かる資料を展示。

主な展示品…福島中町絵図(宝永2年/1706)・奥州道中絵巻(近世中期・奥州信夫郡福島渡利村絵図(天保7年/1836)・伊達信夫両郡絵図(近世後期)など

説明会…10月6日(日)・11月3日(日)・12月8日(日)(各回とも午後1時から50分程度)  
入場…無料  
休館日…11月11日(月)・12月2日(月)・12月16日(月)

江戶落語 五人男  
11月30日(土) 14時開演  
福島県文化センター 大ホール

出演は桂歌丸、桂米助、三遊亭内葉、林家木久扇、林家たい平。テレビでお馴染みの人気噺家・五人男が福島に勢揃い！  
特等席 6,000円 / 一等席 5,500円 / 二等席 5,000円



東北各地のこけしの展示即売会「美轆展」が「原郷のこけし群西田記念館」で開催されました。今年で22回目の美轆展は毎年この時期に西田記念館での開催が恒例で、期間中は入館無料となっております。当日は多くのこけしファンが全国から詰め掛け、様々な表情のこけしや木地玩具を買い求めていました。



また、20日には「TOHOカルテット」による演奏会も開催され、美轆展を盛り上げました。「G線上のアリア」や「時代劇メドレー」など7曲が演奏され、多くの来場者を楽しませていました。



TOHO カルテットによる演奏会

TOPICS **当財団の後援事業について**

「美轆展」開催  
「TOHOカルテット」の演奏も  
平成25年7月19日～21日

TOPICS **当財団の奨学金事業について**

事業内容のご紹介(概況)  
当財団は平成24年7月より「財団法人東邦育英会」の奨学金事業を引き継ぎました。この事業の概況についてご紹介します(奨学生募集の内容については当財団のホームページにも掲載しています)。  
なお、平成27年度の新規奨学生の募集は、平成26年5月の予定です。

1. 奨学生採用状況

昭和 58 年に(財)東邦育英会が発足し、平成 24 年に当財団が事業を引き継ぎ、現在までに 384 名の方々に奨学金を給与しております。

年度	人数	金額
昭和 58 年～平成 4 年	各 10 名	100 名
平成 5 年～平成 10 年	各 15 名	90 名
平成 11 年～平成 14 年	各 10 名	40 名
平成 18 年～平成 23 年	各 15 名	90 名
平成 24 年		33 名
平成 25 年		31 名
計		384 名

2. 震災特別枠について

平成 24 年度より平成 26 年度までの 3 年間(限定)、新規奨学生について、当財団通常枠 15 名に加え「震災特別枠」を設け、計 56 名に給与しました。

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
特別枠			
当財団特別枠	5 名	5 名	5 名
未延財団特別枠	13 名	13 名	13 名
城山観光特別枠		2 名	
計	18 名	20 名	18 名

(注) 未延財団：昭和 8 年に東大教授末延三次氏が父の遺言に従って設立した、育英・奨学を主目的としている財団です。平成 24 年、被災生徒へ奨学金として役立ててほしいとの、義援金の申出があったものです。  
城山観光：鹿児島県の観光会社。今回の奨学金は、城山観光ホテルで開催された東日本大震災復興応援チャリティ企画に寄せられた義援金等を原資としたものです。

3. 奨学生の状況(近況報告より)
- 平成 25 年度奨学生の抱負・活動等
- ・ボランティア活動に力を入れたい。
  - ・福島の子どもの成長を支える活動をしたい。
  - ・将来医師として少しでも福島に貢献できるよう頑張る。
  - ・子どもたちの心のケアができるような教員を目指している。
  - ・東日本大震災でたくさんの方々を支えていただいたので、大学生になって自分も少しでも支える側になれたらと考え、ボランティア等を行って行きたいと考えている。
  - ・勉強と部活動を両立させ、立派な医師になりたい。



原郷のほほえみ  
原郷のこけし群 西田記念館  
福島市荒井字横塚 3-183 (アンナガーデン)  
TEL 024-593-0639 / FAX 024-593-0811  
http://nishidakinenkan.or.jp/

開催中の企画展 ■平成25年8月～11月

# 「今、熱い津軽こけし」

## ■津軽こけしの歴史と魅力

青森県黒石市温湯温泉と南津軽郡大鰐温泉で作られ、発達したこけしを津軽系こけしといえます。津軽系こけしの特徴は、おかつば頭、胴に牡丹やだるまを描くものが多いですが、この他にも様々な作風が見られます。

最近、こけしは都会の若い女性を中心に人気が高まっています。各地のこけしの中でも津軽系は高い人気があり、こけし本の表紙を飾ったり、こけしを目当てに津軽を訪れる人が増えたりしている傾向が見られます。これは、津軽こけし館によるインターネット発信が人気の一因となっており、若い女性視点によるブログやツイッターは多くの人の共感を得ました。また、津軽系は他系統と比べ個性的な作品が多くあることも

人気の理由で、一つの系統としては珍しく非常にバラエティ豊かな作品が見られます。今回の企画展では、今人気の津軽こけしに改めて注目し、古品から現代まで約440点を一堂に紹介しました。



間宮明太郎



盛秀太郎

ます。津軽系は伝統こけし11系統中最も新しい系統で、大正初期から作られ始めました。このため、当初は伝統こけしではなく新型こけしと考えられ、伝統の枠に制約されず各工人が自由な発想で様々な作品を作っていました。しかし、こけしが弟子へと受け継がれ、伝統の裏付けがなされるようになると徐々に伝統こけしとして認められるようになり、幅広い作品が一系統として形成されました。津軽こけし



阿保正文

を育んだ自由な風土は絶えず人を惹きつけるこけしを生み出し、現在も伝統様式を受け継ぐものから一般に親しみやすいものまで様々な作品を作っています。

## ■土湯と津軽の交流

土湯と津軽は最も離れているこけし産地ですが、近年交流が深まっています。一昨年の震災後、津軽こけし館は風評被害に苦し

む土湯のためにチャリティーこけしを作る「モモこプロジェクト」を土湯温泉観光協会と企画しました。この企画は福島市の花・モモを描いたミニこけしを土湯と津軽の工人が製作し、売上の一部を土湯支援のために寄付をするというものでした。販売はインターネットの予約で行われましたが、予想を大きく上回る1207本の注文があり、多くの寄付金が集まりました。集まった寄付金は津軽との文化交流、そして多くの方からの支援を形にするべく「ねぶた」技術を応用した「こけしねぶた灯ろう」の購入に使われました。灯ろうは昨年8月の「ふれ愛つちゆ夏祭り」でお披露目され、土湯温泉を盛り上げる復興イベントの一つとなりました。



チャリティーこけし

## 企画展報告 4月～7月

# 「土湯こけし誕生を現役工人と探る」



野地三起子

土湯こけしはいつ誕生し、どのような姿をしていたかということには分かっていません。このため、この企画展では土湯こけしの原点を探り、誕生時の姿を現役工人の方と想像して復元を行いました。紹介した作品は、本企画展のため現役工人に製作していただいた作品や関連資料約170点です。

伝説によると、土湯こけしは江戸後期に誕生したと言われてます。当時、こけしを作る道具のロクロは「二人挽きロクロ」でした。このため、こけし作りは現代のような一人作業ではなくロクロを回す人と木地を削る人の二人を必要とするものでした。現在の土湯こけしはロクロ線模様が大きな特徴ですが、当時は二人がかりの人手がかかる作業だったことを考えると、かつては手描き模様が主体だった可能性もあります。土湯こけし誕生時の姿が手描き模様を主体とするものだったならば、どのような模様が描かれていたのでしょうか。

の一部には大きな手描き模様を描いたものも見られます。今回の企画展では、このような模様をヒントに10人の土湯系工人にそれぞれのイメージで復元を試みていただきました。イメージは各工人様々でしたが、木肌が粗く染料がにじんだ作品、ロクロ線の代わりにカンナで溝を入れた作品、和紙を使って着色した作品など個性豊かな作品が並びました。



西山敏彦

東邦銀行教育・文化財団では、平成26年4月から同9月までの期間内に活動計画がある文化・スポーツ団体を対象に、平成25年11月1日～12月27日まで助成申請の受付を行う予定です。  
 ▶詳しくは当財団のホームページの「文化・スポーツに対する助成事業」をご覧ください。事務局 ☎ (024) 523-5882 までご照会ください。

東邦銀行教育・文化財団では、文化とスポーツの振興を図るため、地域に密着した活動をする団体に助成を行っています。その中から今回は郡山市の「郡山東剣道スポーツ少年団」と、福島市の「飯野混声合唱団」の活動をご紹介します。

平成24年度下期  
 助成団体  
**「スポーツ部門」**

●郡山東剣道スポーツ少年団  
**郡山東剣道スポーツ少年団創立10周年記念  
 「郡山東部地区剣道スポーツ少年団交流大会」**



剣士宣誓！

全力で試合に臨む姿に  
 父兄も感動！

郡山東剣道スポーツ少年団創立10周年記念「郡山東部地区剣道スポーツ少年団交流大会」は平成24年11月11日、小原田小学校体育館において、団体戦は9チームの参加により開催されました。

智・仁・勇——  
**「強さ」だけを追求しない**

郡山市東部の子どもたちが伝統文化である剣道を身近に学び、伝承していく場として、平成14年4月に設立された郡山東剣道スポーツ少年団。現団員数32名の同団の特徴は、「剣道の「強さ」だけでなく「感

日ごろの練習成果を十分に発揮し、全力で試合に臨む姿は、観衆も一体となる感動を生みだしました。応援の父兄の中には、わが子の試合を初めて観戦し、「子供の成長や以外な一面がみられて非常に有意義な大会でした」との感想が寄せられたとのこと。  
 試合終了後に、日本刀を用いた居合道の演武が行われ、団員たちは、「刀を振る時に空気の切れる音がした！」と大変興味深く見ていました。その後全員で昼食を食べて交流会は終了しました。

平成24年11月11日(日)・小原田小学校体育館

謝「友愛」「反省」など子ども達  
 がこれから成長していく中で必要なことを、剣道を通じて学べるような環境作りに取り組んでいる」と、人間形成の場としての剣道を大事にしていること。保護者育成会会長の長沼博恵さんは、「指導者の先生と共に、剣道の楽しさ」を教えるべく遊びの要素を持った練習を取り入れたり、中学・高校に進学しても剣道を続けられるよう、中高生の団員にも小学生の指導などを協力してもらっています。これにより中高生の団員も将来リーダーシップを発揮するための経験を積むことができると考えています」と、その指導方針を語ります。

そして「今回の10周年記念大会が無事終了できたのは、関係各所の皆様のご協力、ご支援のおかげです。団員、指導者、保護者の連帯感が

気合い炸裂！



ますます強くなり、20周年を目指して飛躍していくべく決意を新たにすることができました。ありがとうございました」と、記念大会を終えての思いを話してくれました。



見事完全優勝!!

- 【試合結果】**
- (1) 団体戦(小学生 高学年の部)  
 (5チーム参加)  
 優勝) 郡山東  
 (2位) 芳賀
  - (2) 団体戦(小学生 低学年の部)  
 (4チーム参加)  
 (優勝) 郡山東  
 (2位) 芳賀剣友会
  - (3) 初心者基本組の部  
 (2位) 佐藤涼香  
 (2位) 宇内蒼

平成24年度下期  
 助成団体  
**「文化部門」**

●飯野混声合唱団  
**飯野混声合唱団  
 35周年記念演奏会**

平成24年12月9日(日)・福島テルサFTホール



客席を埋め尽くした聴衆！

超満員の会場が一体となり  
 熱い感動で涙……！

「大きなホールでの演奏を経験できた喜びと、会場が一体となった熱い感動を味わうことができ、涙が込み上げてきた。素晴らしい経験ができて、頑張って練習して良かった！」  
 「歌を通して、愛や、夢、希望を感じ

じていただけるような、温かい雰囲気  
 の演奏会にしたいね」を合言葉に練習に励んできましたが、私達はステージに立ったその時から、会場超満員のお客様の心で、温かい雰囲気にお包んでいただきました。熱い感動がこみ上げてきて胸がいっぱいになりました！  
 「飯野混声合唱団35周年記念演奏会」終了後、団員ら演奏者41名はこんな思いに酔っています。この日、飯野町内外から駆けつけて会場を埋め尽くした550人余りの方々から「久々に演奏者とフロアーが一体となった温かな演奏会で心から満足した」「良かった、素晴らしい、有り難くない。自分のことのように嬉しく感動して涙が止まらなかった」などの感謝や感動の声を浴びて……。

地域と共に——の心を大切に  
 心のハーモニーを大切に！  
 実行委員長(当時会長)の斎藤

憲子さんは「演奏会を開催するには、種々大変なこともありましたが、団員全員が係を担い、一丸となって進めたことで得たものは大きいものがありました。練習の過程で、また、演奏の構成でと、その度に頭を寄せ合い心を寄せ合って進めてきたからこそ、演奏会当日に、大輪の花を咲かせることができたと思っています。達成感を味わうとともに、会場が一体となった心繋がる熱い感動もいただきました。このことは忘れる事なく、今後の活動に繋がっていくものと確信しています。また、坂本朱さんの歌声とトークに、お客様は大変喜んでくださいました。演奏会の成功には指導者(指揮者・ピアノ伴奏者)に恵まれたこと、多くの方々の応援、支援、協力が沢山あったことも忘れてはなりません。本当にありがた

いです」と演奏会大成功の思いをかみしめていました。  
 飯野混声合唱団は、「合唱を通じて会員相互の親睦を深め、飯野町の文化の発展と一翼を担う」と昭和53年3月に設立。団員数39名の現在は、本県合唱文化のふるさとともいえる福島市の合唱の一翼を担います。斎藤さんは「演奏会を機に更に向上できるよう努力し、微力ながら地域文化の向上と発展に努めたいと思っています。また、地域と共に——の心を大切にして、皆様に親しんでいただける合唱団を目指し、合唱という歌のハーモニーと団員相互の心のハーモニーを大切にしながら精進していきたいと思っています」と今後の抱負を話してくれました。

**〈プログラム〉**

- I. ふるさと／緑の星に／大地讃頌
- II. 世界に一つだけの花／ピリブ／あすという日が
- III. (ピアノ演奏) 高野由香  
 ラフマニノフ：前奏曲 op.3-2 /  
 ドビュッシー：夢想
- IV. (特別出演) 坂本朱 (メゾソプラノ)・  
 富山律子 (ピアノ)  
 愛の讃歌／死んだ男の残したものは  
 翼をください
- V. アヴェ・ヴェルム・コルプス／  
 長崎の鐘／新しき朝の
- VI. いざたて戦人よ／南海譜／荒城の月
- VII. 「筑後川」より みなかみ／銀の魚  
 ／河口



感動と感謝をかみしめながら記念撮影